

ゆきわり養護学校の居住地校交流事例紹介

～事前準備～

①年度当初や交流前に居住地校と対面で打合せを実施

- ・本人と保護者の意向を共有し、交流回数や内容を検討します。
- ・子どもの障がいの状態に応じて、例えば、車いすを使用している場合は、居住地校の校舎や駐車場を実際に見て、移動や学習に支障がないかを確認します。
- ・子どもたちの普段の学習の環境が分かる写真や動画を居住地校と共有して、授業の内容や実施場所を相談します。写真や動画は居住地校での事前学習においても活用されています。



ゆきわり養護学校
教員

山形市立鈴川小学校との交流では、初回の打合せ後から当日までの間に、オンラインでの交流の接続テストを兼ねてオンラインで打合せをしました。居住地校と当日の活動についてやりとりする中で、日頃の学びを居住地校でも発揮してほしいと考え、互いの学校を紹介する時間を設けたり、ゆきわり養護学校の子どもが音楽の授業の内容を生かしたクイズを出題したりしました。

②医療的ケアが必要な子どもの場合は、医療的ケアの内容や実施場所などを検討

- ・本人と保護者の意向をもとに、医療的ケアの内容を検討します。医療的ケアは、特別支援学校の学校看護師が同行する場合は学校看護師が、同行しない場合は保護者が行います。例えば、授業の前後に小中学校の保健室を借りて、体調の確認や水分摂取などを行うこともあります。
- ・マスクの着用など、医療的ケアが必要な子どもたちへの適切な配慮の仕方を居住地校に共有します。
- ・持ち物、健康面での確認事項、緊急時の対応などを整理します。

～交流のひとコマ～



ゆきわり養護学校のBさんは、山形市立蔵王第一小学校での授業の前後に保健室で医療的ケアにより水分注入を行っていました。ある時、蔵王第一小学校の子どもから、「どうしてBさんは水分をとるときに保健室に行くの？」という声がありました。この声を受け、ゆきわり養護学校では、Bさんが蔵王第一小学校の子どもたちと一緒に水分をとることでお互いの理解が深まると考えました。そこで、ゆきわり養護学校内では、Bさん、保護者、管理職、医療的ケア担当教員と相談し、そのうえで蔵王第一小学校とも相談し、蔵王第一小学校の子どもたちと一緒に教室で水分をとる機会を設けました。安全のため、周りに気を付けながら、教室の中に場所を確保し、保護者が注入を行いました。

蔵王第一小学校の
子ども

Bさんは何を飲んでいるの？

野菜ジュースだよ。ココアとか青汁とか、色々飲むよ。



僕もココア好き！僕たちと同じ飲み物を、色々飲んでいるんだね。
僕も一緒にお茶飲もうっと。

ゆきわり養護学校
Bさん・保護者



医療的ケア
指導看護師

同じ場所で医療的ケアを行ったことで、Bさんは教室の中でいつも通りに過ごすことができ、蔵王第一小学校の子どもたちは、Bさんの日常を知り、同じ時間を過ごすことができました。



互いの学校の子供たちが安心して活動できるよう、居住地校にも、医療的ケアの内容や疾患への適切な配慮の仕方、感染症予防について理解してもらうことが大切です。

居住地校では、同年代の友だちとの関わりの中で、普段の学校での姿とは違う一面を見ることが出来ます。交流で必要となる支援を検討し、特別支援学校の子供たちが出来ることを最大限に生かしていきましょう。

